



学校だより

小和田小学校

令和7年度11月号

学校教育目標 「心も体も丈夫な子」「思いやりのある子」「自ら学ぶ子」

学校経営方針 一人ひとりを大切に、社会力のある人を育み、みんなの笑顔がある学校

校長 高澤 誠

朝の冷たい空気ときれいな青空が見られるようになり、秋の深まりを感じます。

さて、10月16日（木）から後期が始まりました。後期始業式は、体育館が空調工事で使用できないため、教室でのオンライン実施としました。私からは、「奇跡をおこせ！」というお話をしました。先日のサッカーの国際試合で日本代表がブラジル代表に勝利しました。これを奇跡と言う人もいますが、偶然起きたことではありません。奇跡は偶然起こるのではなく、準備を一生懸命した人に起こると思います。「そうなりたい。そうしたい。」と強く願い、諦めないことが大事です。きっと児童の皆さんも奇跡を起こすことができると思います。児童の皆さんがこれから「奇跡」をたくさん起こしてくれることを願っています。



11月には、土曜参観、オープンスクールを予定しています。児童の学びの様子をご参観いただき、学校の教育活動をご理解いただく大切な機会と考えております。

バス遠足（1年生）

1年生は、10月20日（月）に遠足で新・江の島水族館へ行ってきました。小学校で初めてのバス遠足でした。朝、とても楽しみにしている気持ちを私にも話してくれました。天候は曇りでしたが、リュックサックにお弁当とおやつを入れ、元気に出発しました。水族館は少し混んでいましたが、先生の指示をよく聴き、行動することができました。また、色々な海の生き物を見たり、イルカショーでは歓声を上げて驚いたりとても楽しく過ごすことができました。最後に江ノ島をバックに海岸でクラス写真を撮り、バスで帰ってきました。バスを乗り降りするとき、運転手さんに「お願いします、ありがとうございました」を大きな声でしっかりと見え、とても立派でした。

キャンプ（5年生）

5年生は、10月28日（火）～29日（水）に足柄ふれあいの村（南足柄市）へキャンプに行ってきました。朝の出発式では、小学校で初めての宿泊行事に対して、児童は「ドキドキ」、「ワクワク」、そして少しの不安が入り混じった表情をしていました。この日のために、家庭科でご飯の炊き方を学び、キャンプファイヤーのために歌の練習を各学級で行って準備してきました。「困ったらみんなで助け合えば大丈夫！」と送り出しました。天気に恵まれ、1日目は野外炊事やキャンプファイヤー等が実施できました。2日目は、利用した場所をきれいに掃除して、クラス写真を撮り帰ってきました。大きな事故もなく無事に終えることができました。児童から「やり遂げた」という自信の表情が見られました。学校や家庭を離れ、自然の中で日頃体験できないことを友達と協力して行うことができました。ここで身に付けた力が今後の学校生活で生かされることを期待しています。